

体験談を頂戴した順番（上の方が最新）に掲載しています。学年はその時点のものです。



【中3の塾生】

元々私は、勉強がきらいで受馬知のことも何も考えておらず、一番最初の五ツ木のテストを受けて結果が悪くても全然気にしていませんでした。そして、私は中学校の3年間ハンドボール部に入っていました。その引退した時期が11月とかなり遅めでなかなか勉強のスイッチが入りませんでした。

そんな時、さんさん国語塾が目に付きました。

まず、一から、私に勉強のやり方を教えてくれて、家でも学力率よく勉強することが出来ました。過去問や、専用の問題集をして苦手をなくし、それでも分からない所があれば、先生が親身に教えてくれました。

このように勉強をしていくと、1月では偏差値が10上がり、無事第一志望の公立高校を合格することが出来ました。

このような結果が出せたのは、支えてくれた家族や友人、そして、さんさん国語塾だと思えます。本当にありがとうございます。

【中3のお母様】

現在、公立中学校3年生の男子です。小説を読むのが好きで、小学生の間は国語の成績も悪くはありませんでした。ただ、読書感想文になると何を書いたら良いかわからないようで、私が手伝ってやっと仕上げた事もありました。作文の入門書や市販の問題集で家で指導していたのですが、なかなか成果が出ず、いま中学生になり、記述問題での減点が続くように…。中2の秋に受けた大手塾の公開テストで、作文が白紙で20点丸々落としていたのを見て、これは独学ではどうにもならないと危機感を覚えたのが、こちらの作文コースに申し込んだきっかけです。その時は（高校受験には間に合わないだろうけれど、新大学入試対策として…）というつもりでした。ところが受講したたった4ヶ月目の実力テストで、作文15点中13点も取る事が出来ました。本人曰く「書く事に抵抗がなくなった」との事で、以前は2時間かけても原稿用紙が埋まらず苦勞していたのに…と驚きで一杯です。高校入試はまだこれからですが、これからも自信を持って学校のテストや模試に臨んで欲しいと思います。作文への苦手意識を取りのぞく、くださった蒔田先生には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございます。受験まで引き続きご指導よろしくお願ひいたします。